

# 長野南高校野球部通信

第9号 2024年10月7日(火) 野球部監督 丸山智大

## 新チーム初の変則W試合

10月6日(日)は新チームになってから初めて三つ巴で試合を行いました。場所は本校で長野吉田高校と駒ヶ根工業との試合でした。試合は一勝一敗で課題も収穫も手にすることが出来ました。

自校で試合をする場合は、自校のことを「ホスト校」、来てもらう高校のことを「ゲスト校」と呼びます。ホストとは主催者、招くなどの意味があります。ホスト校としての立ち振る舞いはどうだったでしょうか。人数が少ない中で、大変な部分も重々承知です。それでも保護者の方々が得点板やSBOなど出来ることを協力してくださっています。審判さんも本来4人でやる中を「二人でやるよ。」と言って下さり3試合ジャッジしてくれました。だからこそ、君たちも大変だけど出来ることは100%でする必要があります。お金をかけなくてもおもてなしは出来ます。

以前の勤務校でみんなもわかるような愛知県の強豪校と佐久長聖を招いて練習試合をさせてもらいました。試合は全力でぶつかりましたが、もちろん大差で敗れました。私は、「もう次回以降は試合をさせてもらえないだろう。」と落ち込んでいました。帰りがけお見送りをしようとすると、その愛知県の強豪校の監督さんが「来年もやってもらえるかい。」と言ってくれました。私は、こんなボロボロに負けたのにまたやりたいと思うはずないと頭が混乱して「なんですか！！？」と思わず言ってしまいました。そうすると、その監督さんはこう言ってくれました。

「どんなに大差でも最後まで選手たちが全力でやる姿勢が素晴らしいかった。そして、グラウンドでの挨拶や丁寧な整備、テキパキ補助をしてくれる姿。どれも学ぶことばかりだった。」続けて、「練習試合は何かを学ぶために行う。それが試合の中身であることはもちろんだが、勝ち負けじゃなくても学べる部分はある。それが先生の学校にはたくさんあったからこうしてお願いしているんだよ。」と言つてもらいました。

私は思わず相手の選手が近くにいたにも関わらず嬉しくて泣いてしまいました。勝てなくて勝てなくて苦しんでいた代でしたが、そういう選手たちの部分を評価してくださったことが嬉しくてしょうがなかったです。

長野南高校と練習試合をしたい。長野南高校のグラウンドで練習試合がしたい。試合以外の部分でもそう思ってもらえるチームになろう。そのために出来ることはなんだろう。そんなことを考えて次回からの練習試合に臨んで下さい。期待しています。